



2024年3月期 決算説明資料

2024年5月14日

石油資源開発株式会社
(証券コード：1662)

目次

- I. 業績ハイライト・事業等の進捗状況**
- II. 持続的な成長と中長期的な企業価値向上への取り組み**
- III. 2024年3月期 決算の概要**
- IV. 2025年3月期 業績予想の概要**

※本資料は2024年5月15日開催予定の機関投資家およびアナリスト向け決算説明会資料を兼ねております。

I. 業績ハイライト・事業等の進捗状況

II. 持続的な成長と中長期的な企業価値向上への取り組み

III. 2024年3月期 決算の概要

IV. 2025年3月期 業績予想の概要

業績ハイライト

2024年3月期 通期連結決算のポイント（2023年3月期比較）

単位：億円	23/3月期 (a)	24/3月期 (a)	比較増減
営業利益	620	552	△68
経常利益	831	688	△143
親会社株主に帰属する当期純利益	673	536	△137

- **営業利益** : 原油、天然ガスおよび液化天然ガス等の販売価格の下落などにより減益
- **経常利益** : 持分法投資利益の減少など

2025年3月期 通期連結業績予想のポイント（2024年3月期比較）

単位：億円	24/3月期 (a)	25/3月期 (f)	比較増減
営業利益	552	524	△28
経常利益	688	555	△133
親会社株主に帰属する当期純利益	536	428	△108

- **営業利益** : 原油、天然ガス等の販売価格の下落などを見込む
- **経常利益** : 為替差益の減少などを見込む

株主還元

- **2024年3月期の1株当たり配当金は年間300円（中間125円+期末175円）**
- **2025年3月期の1株当たり配当金（予想）は中間125円、期末25円※**

※2024年5月14日開催の取締役会にて、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を決議。

当該株式分割を考慮しない場合の2024年度（予想）の1株当たりの期末配当金は125円

経営目標と資金配分に係る当期実績と今期見通し

定量目標

項目	中長期目標	2023年度実績	2024年度見通し
前提	油価 (JCC) 50USD/bbl 為替 110円/USD	油価 (JCC) 86.28USD/bbl 為替 143.28円/USD	油価 (JCC) 85USD/bbl 為替 140円/USD
事業利益*1	2026年度 300億円 2030年度 500億円	558億円	526億円
ROE	2026年度 5% 2030年度 8%	11.5%	8.4%
利益構成割合 (E&P : E&P以外)	2026年度 6 : 4 2030年度 5 : 5	7 : 3	8 : 2

資金配分

項目	想定配分*2	2023年度実績	2024年度見通し
成長投資	2026年度累計 2,750億円 2030年度累計 4,500億円	733億円	770億円 + a (累計1,945億円 + a)
株主還元	2026年度累計 250億円 2030年度累計 500億円	266億円 (内訳) 前期末配当 119億円 中間配当 67億円 自己株式取得 79億円	277億円 (累計681億円) (内訳) 前期末配当 92億円 中間配当 64億円 自己株式取得 120億円

*1: 営業利益および持分法投資利益等 (投資事業有限責任組合契約や匿名組合契約にもとづき分配される利益を含む)

*2: 2022年度から2026年度までの5年間累計、および2030年度までの9年間累計

各事業分野重点項目に係る主な当期実績と今期見通し

	当期（2023年度）実績	今期（2024年度）見通し
E&P 分野	<p>【国内E&P】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新潟県・片貝ガス田周辺追加開発：1坑目生産開始(12月) / 2坑目掘削中 <p>【海外E&P】</p> <ul style="list-style-type: none"> ノルウェー領海上鉦区で探鉱・開発事業を推進する英ロンゴポート・エナジー社子会社（LBJ）へ資本参加（5月） アメリカ・タイトオイル開発の追加坑井権益取得（5月&12月） 英領北海・シーガルプロジェクトで原油・天然ガスの生産を開始（11月） <p>継続</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内操業の低炭素化対応検討 海外既存PJ開発推進 イラク・ガラフプロジェクトで日量23万バレル規模への追加開発を継続、LBJを通じたノルウェー領海上鉦区探鉱・開発 	<p>【国内E&P】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新潟県・片貝ガス田周辺追加開発：2坑目生産開始(年後半) <p>【海外E&P】</p> <ul style="list-style-type: none"> 英領北海・シーガルプロジェクトで全坑井開発作業完了、生産量拡大（年後半） アメリカ・タイトオイル開発の追加取得権益で順次生産開始 <p style="background-color: #c00000; color: white; text-align: center; padding: 5px;">+ 海外新規油ガス田権益の取得検討に注力</p>
I/U 分野	<p>【国内再生可能エネルギー開発】</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電所の開発および管理・運営を担うPJ アセットマネジメント株式会社を設立（6月） 新潟県・見附太陽光発電所運転開始（8月） 蓄電池関連企業である株式会社パワーエックスへ出資（8月） <p>【LNG輸送・供給】</p> <ul style="list-style-type: none"> ベトナム北部工業団地向けのLNGを活用したエネルギーサービス事業実現可能性調査の実施（8月） <p>継続</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内再生可能エネルギー開発 当社参画バイオマス発電所の開発：愛知県・田原（2025年度営業運転開始予定） 海外LNG中下流事業開発 新規案件の獲得検討を継続 	<p>【国内再生可能エネルギー開発】</p> <ul style="list-style-type: none"> 愛媛県・大洲バイオマス発電所の営業運転開始（8月） 山口県・長府バイオマス発電所の営業運転開始（1月） <p style="background-color: #006633; color: white; text-align: center; padding: 5px;">+ 国内外新規再エネ案件などへの参画検討に注力</p>
CN 分野	<ul style="list-style-type: none"> JOGMEC令和5年度「先進的CCS事業の実施に係る調査」公募において、苫小牧工エリアおよび東新潟工エリアにおける調査を受託（7月&8月） 米BSO社への資本参加により、当社初の海外制度先進国における具体的CCS事業化検討に着手（10月） インドネシア・スコワティ油田にてCO2圧入試験（12月） 福島県相馬地区におけるアンモニア供給拠点の構築に向けた共同検討の開始（1月） マレーシア・サラワク州沖合におけるCCS事業化に向けたCO2貯留地契約をペトロスと締結（2月） <p>継続</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内CN事業実現可能性検討：苫小牧工エリアおよび東新潟工エリアにおける事業化検討を推進 海外CCS/CCUS実現可能性検討：インドネシアCO2-EOR（ブルタミナなどと共同） / マレーシアCCS（ペトロナスなどと共同） / アメリカCCS（BSO社と共同） 	<p style="background-color: #666633; color: white; text-align: center; padding: 5px;">+ 国内外新規CN案件参加などの検討を継続</p>

株主還元・ESGに係る主な当期実績と今期見通し

		当期（2023年度）実績	今期（2024年度）見通し
ESG	株主 還元	<ul style="list-style-type: none"> 自己株式取得開始（11月） 配当金実績：年間合計300円（中間125円+期末175円、配当性向30.2%） 	<ul style="list-style-type: none"> 自己株式取得終了（8月）/取得自己株式消却（9月） 配当金見通し：中間125円+期末25円※、配当性向30.1% ※2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を決議。当該株式分割を考慮しない場合の2024年度（予想）の1株当たりの期末配当金は125円。
	E 環境	<ul style="list-style-type: none"> GXリーグ参画および目標設定（4月&9月） 脱炭素社会への取り組み <ul style="list-style-type: none"> ▶ 非化石証書購入によるGHG排出量スコープ2のオフセット（通年） ▶ 見附遊休地に新設した太陽光発電設備の運転開始によるGHG排出量スコープ2の削減（8月） TNFD（生物多様性）フレームワークへの取り組み開始（10月） 	<div style="background-color: #002060; color: white; padding: 5px; text-align: center;">+ 気候変動関連開示の充実</div> <div style="background-color: #002060; color: white; padding: 5px; text-align: center;">+ GX関連などCN社会実現に向けた活動の強化</div>
	S 社会	<ul style="list-style-type: none"> マルチステークホルダー方針の策定・開示（5月） オフィス環境改革トライアルの開始（11月） 国内グループ会社への人権デューデリジェンス実施（11月） 健康経営銘柄に初選定&健康経営優良法人～ホワイト500～に認定（3月） 服装自由化トライアルの実施（通年） 	<ul style="list-style-type: none"> 服装自由化の正式運用開始（4月） 人事制度の改定（7月） <div style="background-color: #002060; color: white; padding: 5px; text-align: center;">+ 人的資本への投資と関連開示の充実</div> <div style="background-color: #002060; color: white; padding: 5px; text-align: center;">+ DXなどを活用した組織・業務の最適化推進</div>
	G ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」の公表（11月） 	<div style="background-color: #002060; color: white; padding: 5px; text-align: center;">+ 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」への継続的取り組み</div>

-
- I. 業績ハイライト・事業等の進捗状況
 - II. 持続的な成長と中長期的な企業価値向上への取り組み**
 - III. 2024年3月期 決算の概要
 - IV. 2025年3月期 業績予想の概要

持続的な成長と中長期的な企業価値向上への取り組み

市場評価の状況

項目	2023年度実績	東証プライム市場平均 2022年度実績
PBR*	0.7倍	1.2倍
ROE	11.5%	8.5%
PER*	6.9倍	15.0倍

* 株価は2024年3月29日終値(6,860円)で算出



企業価値向上を目指した対応方針 2024年3月期 第2四半期決算にて公表済み

- ROEは東証プライム平均値を上回る水準で推移していることから、PBR1倍未達の主たる要因は平均を下回るPERにあると分析
- 低PERの原因として、脱炭素社会に向けた石油・天然ガス事業の持続可能性や、原油・天然ガス価格のボラティリティ等の構造的要因に加え、当社の企業価値向上に向けた取り組みに対する理解・信認が得られてないことも一因と認識
- 企業価値向上に向けた今後の方針を「資本効率にこだわった投資」「株主還元の充実」「継続的なステークホルダーとの対話」の3点に整理

対応方針の取り組み進捗

【資本効率にこだわった投資】

- 中長期的な利益貢献が期待できるコア資産構築に向けた方針を整理（次頁）

【株主還元の充実】

- 自己株式取得を継続実施中（2023年11月～2024年8月）

【継続的なステークホルダーとの対話】

- 株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図るため株式分割を実施（2024年10月）

コア資産構築に向けて①

収益力強化から、2020年代後半から30年代以降を見据えた事業基盤の構築へ

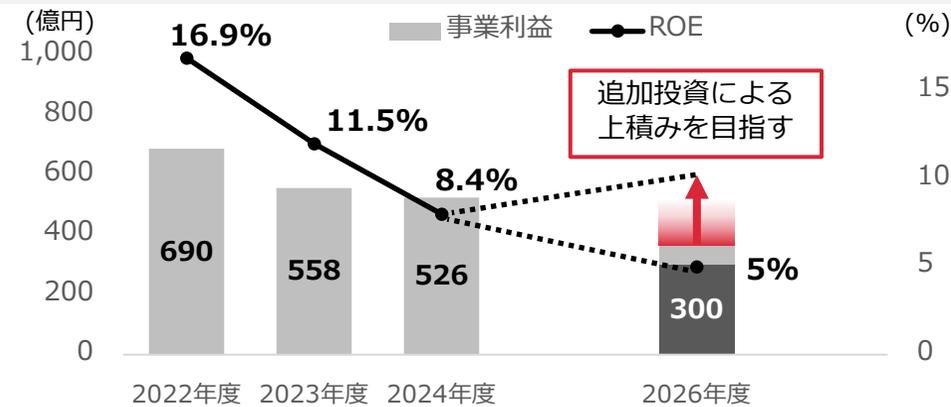
- | | |
|-------------|--|
| 現状認識 | <ul style="list-style-type: none"> ● 石油・天然ガスは今後も主要なエネルギーであり続けると認識。地政学的リスクの高まりからエネルギー安定供給の重要性を再確認 ● 石油・天然ガスの持続利用に必要なCCS/CCUS事業は今後数兆円の国内市場規模になる可能性を認識 ● E&P分野では米国事業への投資により短期的な収益力向上を実現。I/U分野ではFGP・相馬LNG基地およびLNG調達差益による収益貢献、国内バイオマス発電事業への投資も実施。CN分野では国内外でCCS/CCUSの事業化検討を継続 ● 2023年度末までに取得済の資産のみでも2026年度の経営計画目標値（事業利益300億円、ROE5%）を確保できる見通し |
| 投資方針 | <ul style="list-style-type: none"> ● 改善したキャッシュフローは、今後の課題である2020年代後半から30年代以降を見据えた、競争力が高く持続性のある資産（コア資産）構築に向けて重点的に配分する ● E&P分野および将来の利益貢献が期待できるCCS/CCUSを当面のコア資産と位置付ける ● I/U分野は、洋上風力の過当競争化等の環境変化も踏まえ、収益性を意識した投資を行う |

<キャッシュフローの進捗>

- 営業CFは2年前倒しで2026年度累計値の約1.5倍に到達
- 成長投資は概ね計画通りに進捗
- 株主還元を進捗は2024年度までに2026年度累計値の約2.5倍

<事業利益の進捗>

- 2023年度末までに取得済の資産のみでも、2026年度の経営計画目標値の事業利益を確保できる見通し
- 2024年度以降の成長投資により、更なる事業利益の上積みを目指す



JCC	102.26	86.28	85.00	70.00
為替	132.86	143.28	140.00	140.00

* 油価 (JCC) 50USD/bbl、為替110円/USD前提

コア資産構築に向けて②

海外を中心にオペレーター事業を展開、コスト競争力が高く持続性のあるコア資産を構築

E&P
分野

- 知見やネットワークを蓄積してきた米国、資本参加により拠点を保有するに至ったノルウェーに経営資源を集中
- 米国では小規模なオペレーター事業から開始し徐々に規模を拡大、ノルウェーでは資本参画したLongboat Energy Norge ASと協働して探鉱にも取り組み、コア資産を構築
- 国内では、引き続き、片貝追加開発等による埋蔵量追加や海域探鉱を通じたポテンシャルを追求

I/U
分野

油価変動など外部環境の変化に耐えうる収益基盤の強化

- 再エネ、海外供給インフラ事業を中心に、安定キャッシュフローの更なる上積みに向けた取り組みを推進

CN
分野

国内CCS/CCUSのトップランナーとして、日本有数のCCS/CCUS企業となる

- 2030年以降のハブ&クラスター型CCS/CCUS事業資産の構築に向けて、「先進的CCS事業の実施に係る調査」として受託した東新潟、苫小牧エリアの2案件の立ち上げに注力
- 海外制度先進国では、資本参画した米国BSO社と検討中のCCSプロジェクトを最終投資決定に導くとともに、他マイナー出資案件にも参画
- 新興国では、マレーシア・サラワク州やインドネシア・スコワティ油田でのCCS/CCUS事業化検討を主体的な役割を担って推進

経営基盤の強化によりコア資産の構築を下支え

人的資本

- 「職能資格等級制度」から、担う役割を基軸とした「役割等級制度」へ移行し、優秀人材が活躍しやすい企業へ（2024年7月）
- 国内E&P事業及び天然ガス・LNG供給事業の組織統合に伴い捻出された人材を新たな成長分野に振り向ける（2025年7月）

DX

- 2025年度までにBPR（Business Process Re-engineering）で課題とされた統合データ基盤構築を完了し、2026年度から業務の効率化、高度化や生産性の向上を実現

-
- I. 業績ハイライト・事業等の進捗状況
 - II. 持続的な成長と中長期的な企業価値向上への取り組み
 - III. 2024年3月期 決算の概要**
 - IV. 2025年3月期 業績予想の概要

決算概要【前期比】

単位：百万円	23/3月期 (a)	24/3月期 (a)	増減	
売上高	336,492	325,863	△ 10,628	△3%
売上総利益	96,111	87,296	△ 8,814	△9%
営業利益	62,085	55,247	△ 6,838	△11%
経常利益	83,130	68,808	△ 14,321	△17%
親会社株主に帰属する当期純利益	67,394	53,661	△ 13,732	△20%

原油価格・為替の実績

		23/3月期 (a)	24/3月期 (a)	増減
WTI	USD/bbl	94.42	77.69	△16.73
原油CIF(JCC)	USD/bbl	102.26	86.28	△15.98
為替	円/USD	132.86	143.28	+10.42

E&P事業 販売実績【前期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	23/3月期 (a)		24/3月期 (a)		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量		売上高	
E&P事業	-	-	56,063	-	88,810	-	-	+32,747	+58%

(内訳)

原油	千KL	695	55,703	1,240	87,808	+545	+78%	+32,105	+58%
- 国産原油		238	20,760	225	17,792	△12	△5%	△2,967	△14%
- 海外原油*1		436	33,084	994	68,397	① +558	+128%	+35,313	+107%
- 買入原油		20	1,858	20	1,618	△0	△3%	△240	△13%
天然ガス・海外販売*2	百万M3	11	360	65	1,002	+54	+474%	+641	+178%

主な増減要因

①アメリカ・タイトオイル開発、イラク・ガラフプロジェクトの販売量の増加 / 英領北海・シーガルプロジェクトの販売開始

*1 海外連結子会社 株式会社ジャベックスグラフ、Japex (U.S.) Corp.およびJAPEX UK E&P Ltd.の数値

*2 海外連結子会社 Japex (U.S.) Corp.およびJAPEX UK E&P Ltd.の数値

インフラ・ユーティリティ事業 販売実績【前期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	23/3月期 (a)		24/3月期 (a)		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
インフラ・ユーティリティ事業	-	-	213,657	-	172,147	-	-	△41,510	△19%

(内訳)

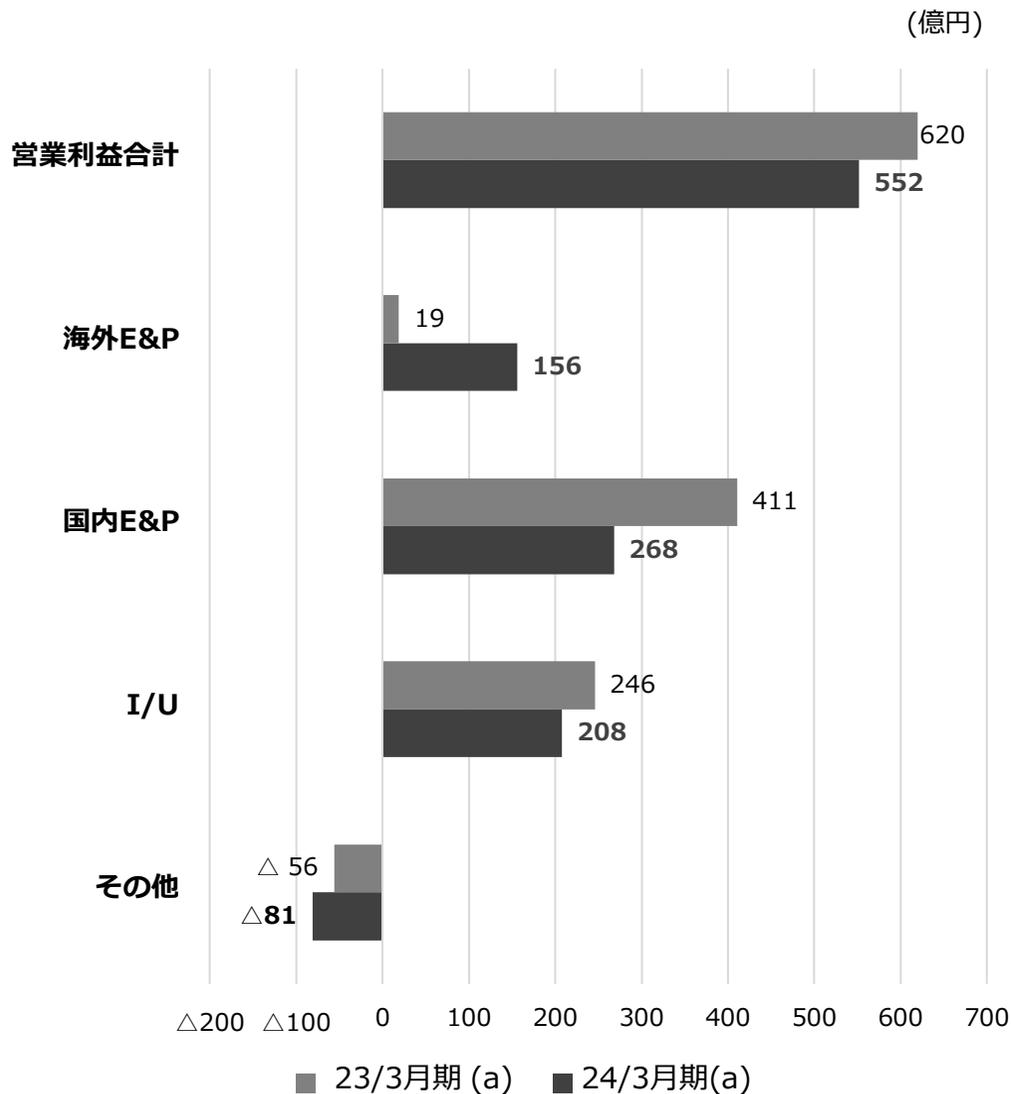
天然ガス・国内販売	百万M3	989	97,360	955	81,487	①	△33	△3%	△15,873	△16%	
- 国産天然ガス		461	-	444	-		△16	△4%	-	-	
液化天然ガス	千トン	340	51,572	275	30,190	②	△65	△19%	△21,382	△41%	
電力	百万kWh	3,005	58,735	3,548	53,272		+542	+18%	③	△5,463	△9%
その他*	-	-	5,988	-	7,197		-	-		+1,209	+20%

主な増減要因

- ①-② 販売量の減少および販売価格の下落
- ③販売価格の下落

* バイオマス燃料販売、天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

営業利益概要【前期比】



E&P事業

(海外) : +136億円 (19億円 → 156億円)

- ・ アメリカ・タイトオイル開発の销售量増加 (+)
- ・ イラク・ガラプロジェクトの一過性費用の剥落など (+)

(国内) : △142億円 (411億円 → 268億円)

- ・ 国産原油销售量減少および販売価格下落 (-)
- ・ 国産天然ガス销售量減少および販売価格*下落 (-)

* 当社内部管理上のE&P事業からインフラ・ユーティリティ事業への取引価格

インフラ・ユーティリティ(I/U)事業

△37億円 (246億円 → 208億円)

- ・ LNG調達差益の減少など (-)
- ・ 原料スライドタイムラグ (+)

その他※

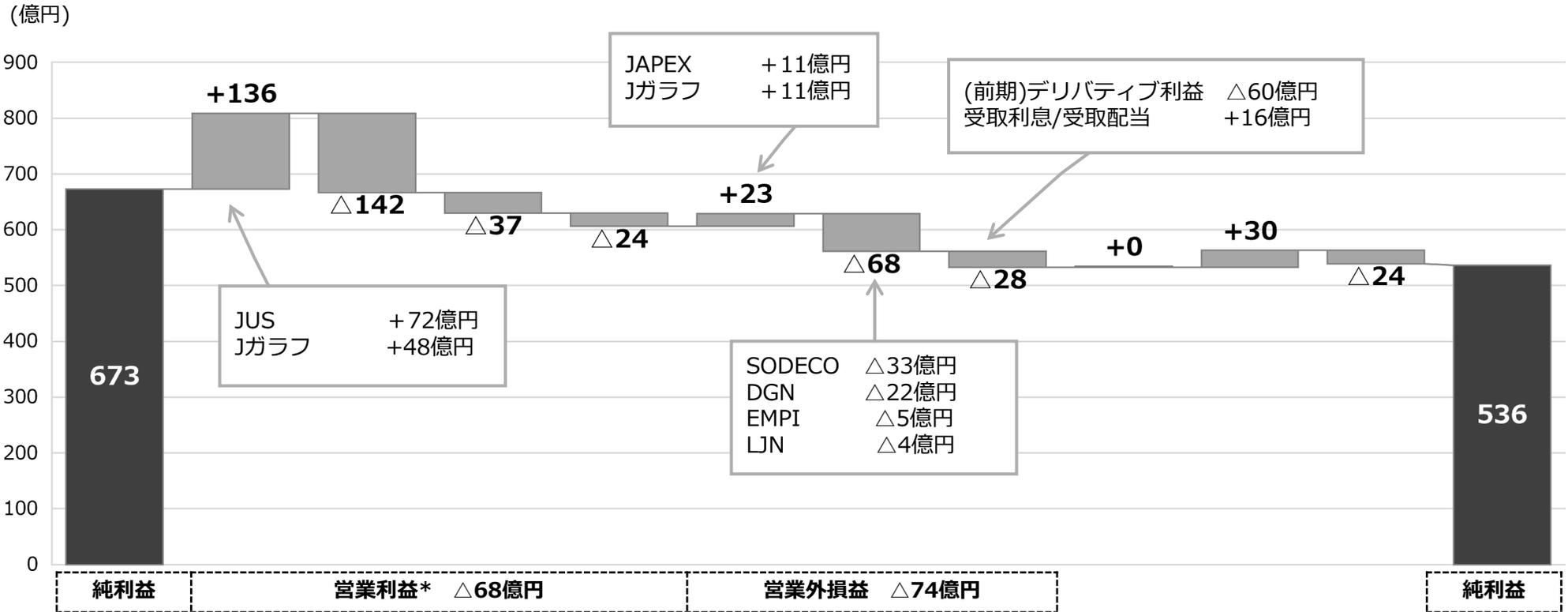
△24億円 (△56億円 → △81億円)

- ・ 一般管理費 (人件費、デジタル関連支出など) の増加 (-)
- ・ 子会社における請負事業の減益 (-)

※ 上記分野部門に属さない営業利益 (CN分野、請負、石油製品・商品等) から本社管理費を控除した金額

注) 営業利益内訳の分野区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

純利益増減分析【前期比】



23/3月期 (a)	海外E&P	国内E&P	I/U	その他	為替差損益	持分法投資損益	その他	特別損益	法人税等	非支配株主利益	24/3月期 (a)
23/3月期 (a)	19	411	246	△56	53	71	86	△0	151	5	
24/3月期 (a)	156	268	208	△81	76	2	57	△0	120	30	

注) 営業利益内訳の分野区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

-
- I. 業績ハイライト・事業等の進捗状況
 - II. 持続的な成長と中長期的な企業価値向上への取り組み
 - III. 2024年3月期 決算の概要
 - IV. 2025年3月期 業績予想の概要**

通期業績予想

単位：百万円	24/3月期 (a)	25/3月期 (f)	増減	
売上高	325,863	379,400	+53,536	+16%
売上総利益	87,296	86,300	△ 996	△1%
営業利益	55,247	52,400	△ 2,847	△5%
経常利益	68,808	55,500	△ 13,308	△19%
親会社株主に帰属する当期純利益	53,661	42,800	△ 10,861	△20%

原油価格・為替の前提

		24/3月期 (a)	25/3月期 (f)	増減
WTI	USD/bbl	77.69	80.00	+2.31
原油CIF(JCC)	USD/bbl	86.28	85.00	△1.28
為替	円/USD	143.28	140.00	△3.28

E&P事業 販売予想

売上高単位：百万円	販売量単位	24/3月期 (a)		25/3月期 (f)		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量		売上高	
E&P事業	-	-	88,810	-	141,190	-	-	+52,379	+59%

(内訳)

原油	千KL	1,240	87,808	2,009	138,031	+768	+62%	+50,222	+57%
- 国産原油		225	17,792	220	16,507	△5	△2%	△1,285	△7%
- 海外原油 *1		994	68,397	1,769	120,096	① +775	+78%	+51,698	+76%
- 買入原油		20	1,618	18	1,427	△1	△9%	△190	△12%
天然ガス・海外販売 *2	百万M3	65	1,002	151	3,158	+85	+130%	+2,156	+215%

主な増減要因

①アメリカ・タイトオイル開発、イラク・ガラフプロジェクトおよび英領北海・シーガルプロジェクトの販売量増加

*1 海外連結子会社 株式会社ジャベックスガラフ、Japex (U.S.) Corp.およびJAPEX UK E&P Ltd.の数値

*2 海外連結子会社 Japex (U.S.) Corp.およびJAPEX UK E&P Ltd.の数値

インフラ・ユーティリティ事業 販売予想

売上高単位：百万円	販売量単位	24/3月期 (a)		25/3月期 (f)		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
インフラ・ユーティリティ事業	-	-	172,147	-	171,691	-	-	△456	△0%

(内訳)

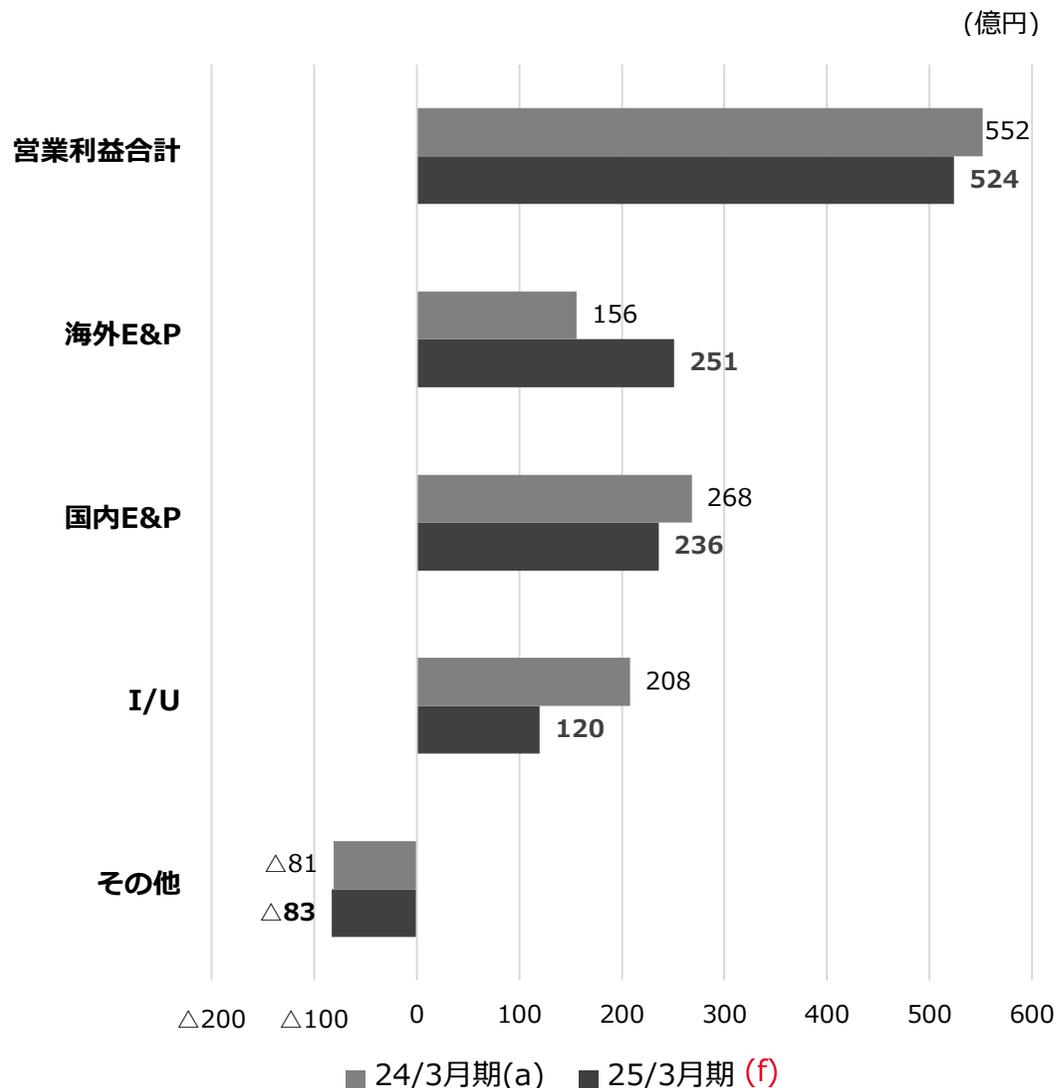
天然ガス・国内販売	百万M3	955	81,487	970	76,623	+14	+1%	①	△4,863	△6%	
- 国産天然ガス		444	-	457	-	+13	+3%		-	-	
液化天然ガス	千トン	275	30,190	366	34,401	②	+91	+33%	+4,210	+14%	
電力	百万kWh	3,548	53,272	2,980	44,678	③	△568	△16%	△8,593	△16%	
その他*	-	-	7,197	-	15,988		-	-	④	+8,790	+122%

主な増減要因

- ①販売価格の下落
- ②販売量の増加
- ③販売量の減少
- ④当社バイオマス発電所向けバイオマス燃料の販売量の増加

* バイオマス燃料販売、天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

営業利益予想



注) 営業利益内訳の分野区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

E&P事業

(海外) : +95億円 (156億円 → 251億円)

- アメリカ・タイトオイル開発の销售量増加 (+)
- 英領北海・シーガルプロジェクトの销售量増加 (+)

(国内) : △32億円 (268億円 → 236億円)

- 国産原油销售量減少および販売価格下落 (-)
- 国産天然ガス販売価格*下落 (-)

* 当社内部管理上のE&P事業からインフラ・ユーティリティ事業への取引価格

インフラ・ユーティリティ事業 (I/U)

△88億円 (208億円 → 120億円)

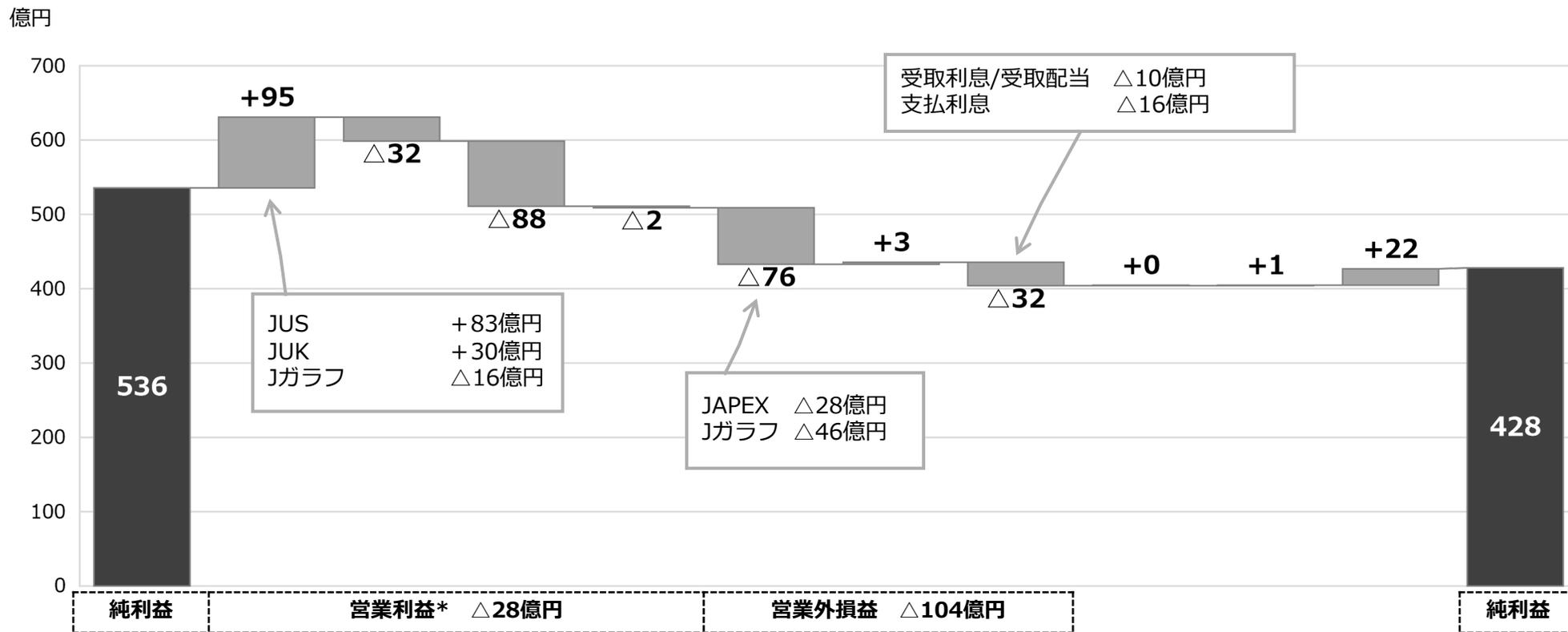
- LNG調達差益の減少など (-)

その他*

△2億円 (△81億円 → △83億円)

※ 上記分野部門に属さない営業利益 (CN分野、請負、石油製品・商品等) から本社管理費を控除した金額

純利益増減分析



24年3月期実績(a)	海外E&P	国内E&P	I/U	その他	為替差損益	持分法投資損益	その他	特別損益	法人税等	非支配株主利益	25年3月期予想(f)
24年3月期実績(a)	156	268	208	△81	76	2	57	△0	120	30	
25年3月期予想(f)	251	236	120	△83	-	6	25	-	119	8	

注) 営業利益内訳の分野区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

バランスシートの状況

単位：百万円	23/3月期(a)	24/3月期(a)	増減
流動資産	281,791	249,768	△32,022
固定資産	286,388	411,160	+124,771
有形固定資産	118,411	176,300	+57,889
投資有価証券	115,940	180,415	+64,474
生産物回収勘定	23,455	20,916	△2,538
その他	28,580	33,528	+4,947
資産合計	568,180	660,928	+92,748
流動負債	64,250	49,095	△15,155
固定負債	46,759	74,258	+27,498
純資産	457,169	537,574	+80,405
内、その他有価証券評価差額金	46,324	84,686	+38,361
内、非支配株主持分	31,536	33,671	+2,135
負債純資産合計	568,180	660,928	+92,748

米国タイトオイル開発、英領北海
シーガルプロジェクト等への投資

投資有価証券の時価上昇
ノルウェー事業への資本参加等

純利益の計上 (+)
その他有価証券評価差額金の増加
(+)
配当金の支払および自己株式取得
による減少 (-)

キャッシュ・フローおよび負債の状況

単位：百万円	23/3月期 (a)	24/3月期 (a)	25/3月期 (f)
	通期	通期	通期
			5.14公表
営業活動によるキャッシュ・フロー	104,581	90,564	123,326
税金等調整前当期純利益	83,084	68,784	55,500
減価償却費	14,257	27,646	42,098
生産物回収勘定の回収	18,295	27,775	54,166
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52,723	△99,659	△112,674
有形固定資産の取得による支出	△35,973	△65,924	△74,238
生産物回収勘定の支出	△27,729	△25,379	△41,746
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,506	△28,596	△30,624
現金及び現金同等物の期末残高	186,166	152,598	132,626

有利子負債*1	10,413	9,091	17,789
EBITDA*2	85,316	93,606	100,370
EBITDA有利子負債倍率（倍）	0.1	0.1	0.2

*1 有利子負債は、リース債務、退職給付に係る負債および偶発債務の合計額

*2 EBITDAは、営業利益、減価償却費、投資キャッシュフローにおける利息および配当金の受取額の合計額

参考資料

1. 売上高内訳
2. 損益の状況
3. セグメント損益
4. 業績予想の前提条件（原油価格・為替等）
5. 2025年3月期予想における原油価格・為替のセンシティブティ
6. 主要事業概況
7. 統合報告書およびIR関連資料等のご案内
8. 用語集

1. 売上高内訳：①E&P事業

	単位：百万円	23/3月期 (a)		24/3月期 (a)				25/3月期 (f)
		通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	通期
								5.14公表
売上高		56,063	10,724	36,811	25,304	15,969	88,810	141,190
原油販売量 (千KL)		695	152	497	349	240	1,240	2,009
原油売上高		55,703	10,608	36,650	25,091	15,457	87,808	138,031
国産原油販売量 (千KL)		238	50	50	60	63	225	220
国産原油売上高		20,760	3,700	3,962	5,115	5,014	17,792	16,507
海外原油販売量 (千KL) *1		436	97	441	283	171	994	1,769
海外原油売上高		33,084	6,532	32,312	19,524	10,028	68,397	120,096
買入原油販売量 (千KL)		20	5	5	5	5	20	18
買入原油売上高		1,858	375	375	451	414	1,618	1,427
天然ガス海外販売量 (百万M3) *2		11	10	15	16	23	65	151
天然ガス海外売上高		360	116	160	213	511	1,002	3,158
WTI (USD/bbl)		94.42	76.11	73.78	82.49	78.36	77.69	80.00
原油CIF (USD/bbl) *3		102.26	85.17	81.77	90.79	86.32	86.28	85.00

(参考) 2023年度末 確認埋蔵量 141百万BOE (国内56百万BOE 海外84百万BOE / 原油86百万BOE 天然ガス54百万BOE)
2023年度 生産量日量 32千BOED (国内12千BOED 海外20千BOED / 原油20千BOED 天然ガス12千BOED)

*1 23/3月期は海外連結子会社 株式会社ジャベックスグラフおよびJapex (U.S.) Corp.の数値、24/3月期および25/3月期は株式会社ジャベックスグラフ、Japex (U.S.) Corp.およびJAPEX UK E&P Ltd.の数値

*2 23/3月期は海外連結子会社 Japex (U.S.) Corp.の数値、24/3月期および25/3月期はJapex (U.S.) Corp.およびJAPEX UK E&P Ltd.の数値、

*3 原油CIF価格を参照した国内原油販売単価実績

1. 売上高内訳：②インフラ・ユーティリティ(I/U)事業

	単位：百万円	23/3月期		24/3月期 (a)				25/3月期
		(a)						(f)
		通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	通期
売上高		213,657	36,398	38,288	36,027	61,433	172,147	171,691
天然ガス国内販売量 (百万M3)		989	202	197	246	309	955	970
天然ガス国内売上高		97,360	20,200	16,189	19,351	25,745	81,487	76,623
国産天然ガス販売量 (百万M3)		461	102	90	111	139	444	457
液化天然ガス販売量 (千トン)		340	30	30	38	175	275	366
液化天然ガス売上高		51,572	1,498	4,551	4,143	19,996	30,190	34,401
電力販売量 (百万kWh)		3,005	774	1,171	695	906	3,548	2,980
電力売上高		58,735	13,137	16,113	10,808	13,212	53,272	44,678
その他*		5,988	1,561	1,434	1,723	2,478	7,197	15,988

LNG(全日本CIF) (円/トン)	126,286	89,887	88,343	95,287	98,994	93,128	85,800
--------------------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

*バイオマス燃料販売、天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

2. 損益の状況

	単位：百万円	23/3月期 (a)		24/3月期 (a)				25/3月期 (f)
		通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	通期
								5.14公表
売上高		336,492	61,321	89,387	79,229	95,924	325,863	379,400
E&P事業		56,063	10,724	36,811	25,304	15,969	88,810	141,190
インフラ・ユーティリティ事業		213,657	36,398	38,288	36,027	61,433	172,147	171,691
その他		66,771	14,199	14,286	17,897	18,522	64,905	66,518
売上原価		240,380	40,812	66,591	59,789	71,373	238,567	293,100
売上総利益		96,111	20,508	22,795	19,440	24,551	87,296	86,300
探鉱費		2,885	255	726	1,035	1,518	3,536	1,800
販管費		31,139	7,349	6,470	7,037	7,653	28,512	32,100
営業利益		62,085	12,903	15,597	11,366	15,379	55,247	52,400
営業外損益		21,044	5,315	5,318	△ 2,339	5,267	13,561	3,100
受取利息		1,173	520	464	559	720	2,265	1,000
支払利息		△ 5	△ 24	△ 34	△ 161	△ 406	△ 626	△ 2,300
受取配当		3,520	57	1,977	71	1,984	4,090	4,300
持分損益		7,109	338	932	245	△ 1,301	214	600
海投損繰入・戻入		△ 44	△ 15	0	△ 23	116	78	200
為替差損益		5,332	4,764	1,587	△ 3,103	4,385	7,634	-
その他		3,958	△ 325	390	72	△ 232	△ 95	△ 700
経常利益		83,130	18,219	20,916	9,027	20,646	68,808	55,500
特別損益		△ 46	△ 9	△ 3	△ 7	△ 3	△ 24	-
税金等調整前当期純利益		83,084	18,209	20,912	9,019	20,642	68,784	55,500
法人税等		15,102	4,335	4,757	476	2,498	12,067	11,900
非支配株主に帰属する当期純利益		587	874	1,384	△ 202	998	3,055	800
親会社株主に帰属する当期純利益		67,394	12,999	14,770	8,745	17,145	53,661	42,800

3. セグメント損益

単位：百万円		23/3月期 (a) 通期	24/3月期 (a)					25/3月期 (f) 通期 5.14公表
			1Q	2Q	3Q	4Q	通期	
日本	営業利益	68,855	13,732	12,608	9,612	15,176	51,130	39,031
	持分法投資利益	326	136	50	△ 64	45	168	334
北米	営業利益	4,210	1,952	3,536	3,440	2,488	11,417	19,732
	持分法投資利益	-	-	-	-	△ 49	△ 49	△ 66
欧州	営業利益	△ 170	△ 111	△ 137	△ 111	786	426	3,490
	持分法投資利益	-	-	-	△ 61	△ 467	△ 529	△ 378
中東	営業利益	△ 112	447	2,672	1,110	519	4,750	3,154
	持分法投資利益	△ 11	△ 1	△ 3	7	-	2	-
その他*1	営業利益	-	-	-	-	-	-	-
	持分法投資利益	6,793	202	884	364	△ 829	622	709
調整額*2		△ 10,697	△ 3,118	△ 3,082	△ 2,684	△ 3,591	△ 12,477	△ 13,008
連結損益算書計上額*3 営業利益		62,085	12,903	15,597	11,366	15,379	55,247	52,400

*1 持分法適用会社サハリ石油ガス開発株式会社およびEnergi Mega Pratama Inc.などを含む

*2 調整額の主な内容は、セグメント間取引消去および全社費用（主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および試験研究費）

*3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っている

4. 業績予想の前提条件（原油価格・為替等）

市況前提			（上段）2023年1月～2024年3月					通期
			（下段）2024年1月～2025年3月					
			1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	
原油CIF (JCC)*	USD/bbl	前期実績	-	85.17	81.77	90.79	86.32	86.28
		今期予想	-	85.00	85.00	85.00	85.00	85.00
WTI	USD/bbl	前期実績	76.11	73.78	82.49	78.36	-	77.69
		今期予想	80.00	80.00	80.00	80.00	-	80.00
LNG（全日本CIF）	円/ト	前期実績	-	89,887	88,343	95,287	98,994	93,128
		今期予想	-	86,400	85,600	85,600	85,600	85,800
為替	円/USD	前期実績	-	134.36	141.06	148.53	146.51	143.28
		今期予想	-	140.00	140.00	140.00	140.00	140.00

* 原油CIF価格を参照した国内原油販売単価

5. 2025年3月期予想における原油価格・為替のセンシティブティ

	25/3月期 前提	変動幅	影響額（百万円）	主な変動項目 + 増益効果/△減益効果
			営業利益	
原油価格	WTI USD 80.00/bbl 原油CIF価格、Brent USD 85.00/bbl	USD 1 /bbl の価格上昇	620	+ 原油・天然ガス販売 △ LNG調達コスト増
為替	140.00円/USD	1 円/USD の円安	580	+ 原油・天然ガス販売 △ LNG調達コスト増

【前提】

- ・持分法適用会社の損益変動は、上記の影響額に含まれない
- ・為替変動の影響に関して、上記に示したものを以外に、外貨建金銭債権債務の為替レート換算差額が発生
また、実際の利益は原油価格や為替以外の様々な要因に影響される

6. 主要事業概況① E&P分野



● 当社が推進・参画するE&Pプロジェクト（2024年4月現在）

No.	油ガス田/プロジェクト名（オペレーター）	権益比率（当社Net）	生産種別	状況	生産量日量*1
A	日本・国内油ガス田（北海道・秋田・山形・新潟の10か所で当社が操業）	権益により異なる	原油・天然ガス	生産・開発中	非開示
1	イラク・ガラフプロジェクト（PETRONAS Carigali Iraq Holding B.V.）	30%（16.5%）	原油	生産・開発中	15.4万bbl
2	インドネシア・カンゲアンプロジェクト（Kangean Energy Indonesia Ltd.）	100%（25%）	原油・天然ガス	生産中	245万m ³ （14,928boe）
3	ノルウェー領海上鉦区（Equinor ASAほか*2）	権益により異なる	原油・天然ガス	探鉦・生産・開発中	—*3
4	英領北海・シーガルプロジェクト（BP Exploration Operating Company Ltd.）	15%（15%）	原油・天然ガス	生産・開発中	非開示
5	ロシア・サハリン1プロジェクト（Sakhalin-1 Limited Liability Company: S1LLC）	30%（4.59%）*4	原油・天然ガス	生産・開発中	非開示
6	アメリカ・タイトオイル開発（EOG Resources Inc.ほか*2）	権益により異なる	原油・天然ガス	生産・開発中	9,360boe*5

*1: 2023年度の日量生産量平均（No.1:2023年4月～2024年3月、No.2,6:2023年1月～12月）の日量生産量平均 *2: 権益によってオペレーターが異なる。主なオペレーターを記載。

*3: 2023年7月に資本参加（当社出資比率49.9%）が完了。2024年1月末に生産資産の権益取得手続きが完了したため、当該期間中（2023年1月～12月）の当社グループとしての生産量はなし。

*4: 2022年11月のロシア政府令によりサハリン石油ガス開発株式会社（SODECO）のS1LLC持分30%引受承認。 *5: netで記載。

6. 主要事業概況② I/U分野 – ガス供給

当社の国内天然ガス供給ネットワークの特色

総延長**800**km超の高圧ガスパイプライン網

外航船受入に対応するLNG基地**2**か所

日本海側-太平洋側双方からのガス供給が可能

● 国内ガス供給

- パイプラインによる国産ガス・LNG気化ガス供給
- LNGの受入・貯蔵・気化・送出
- LNGサテライト輸送（専用ローリー、内航船）
- 当社ガスパイプライン・LNG基地の第三者利用・受託業務など

● 国内ガス供給の多様化対応

- 他の化石燃料からガスへの燃料転換対応
- 都市ガス会社と連携したエネルギーサービスの提案・提供

● LNG調達

- タームとスポットを組み合わせた競争力のあるLNG調達

● 海外LNG供給インフラ

- ガス需要が旺盛な東南アジアを中心とする、新規案件立ち上げなど
 - ✓ 事業化検討中：ベトナム北部LNG基地プロジェクト



6. 主要事業概況③ I/U分野 – 電力

拠点合計 **8**か所 出力合計 **1,389,800kW**
 うち再エネ **7**か所 うち再エネ **209,800kW**

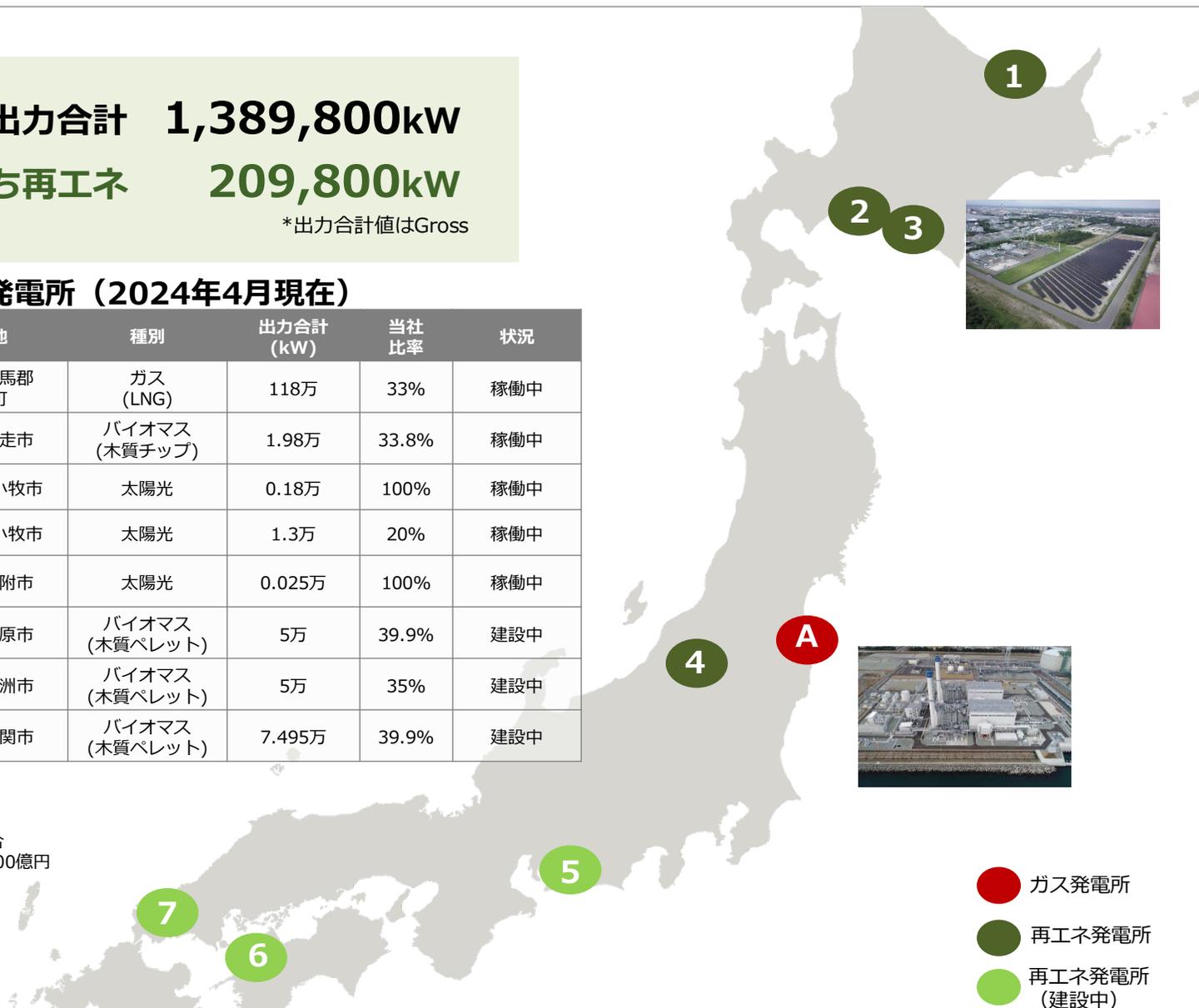
*出力合計値はGross

● 当社が開発・運営に参画する発電所（2024年4月現在）

No.	名称	所在地	種別	出力合計 (kW)	当社比率	状況
A	福島天然ガス発電所	福島県相馬郡新地町	ガス (LNG)	118万	33%	稼働中
1	網走バイオマス発電所2号機・3号機	北海道網走市	バイオマス (木質チップ)	1.98万	33.8%	稼働中
2	JAPEX北海道事業所メガソーラー	北海道苫小牧市	太陽光	0.18万	100%	稼働中
3	勇払太陽光発電所	北海道苫小牧市	太陽光	1.3万	20%	稼働中
4	見附太陽光発電所	新潟県見附市	太陽光	0.025万	100%	稼働中
5	田原バイオマス発電所	愛知県田原市	バイオマス (木質ペレット)	5万	39.9%	建設中
6	大洲バイオマス発電所	愛媛県大洲市	バイオマス (木質ペレット)	5万	35%	建設中
7	長府バイオマス発電所	山口県下関市	バイオマス (木質ペレット)	7.495万	39.9%	建設中

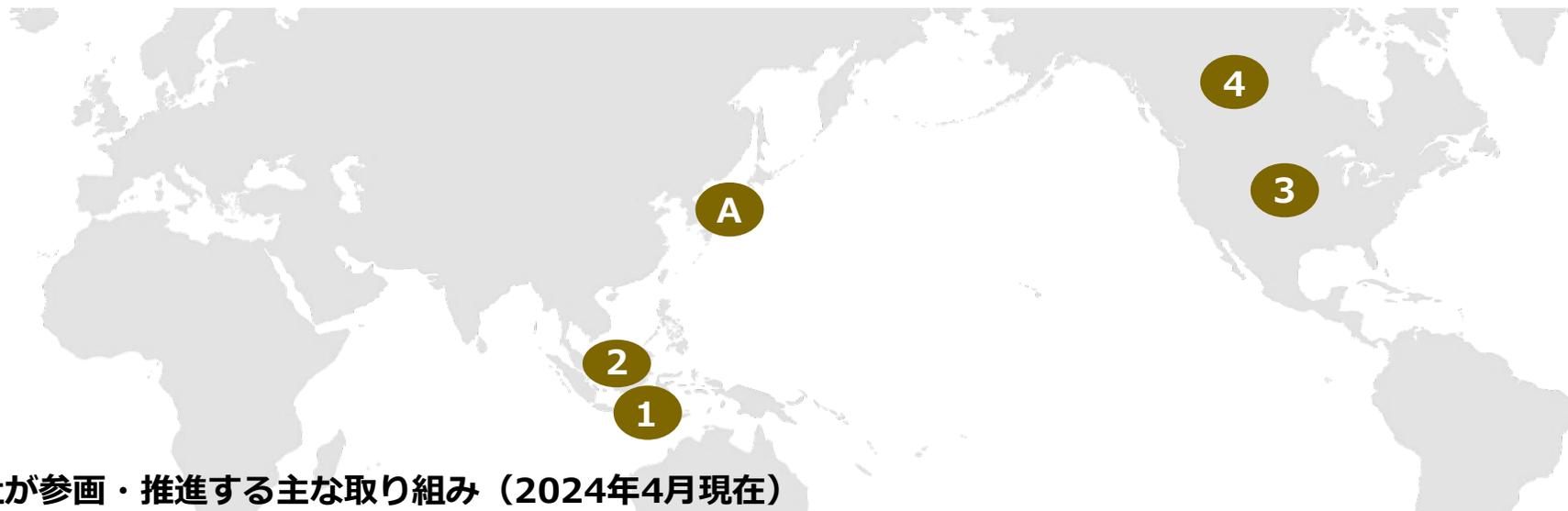
● その他再エネ関連への参画

- PHOTONサステナブルソーラー投資事業有限責任組合 (非FITを含む太陽光発電プロジェクトを対象に最大100億円を投資するファンドへの参画、当社出資比率50%)



- ガス発電所
- 再エネ発電所
- 再エネ発電所 (建設中)

6. 主要事業概況④ CN分野



● 当社が参画・推進する主な取り組み（2024年4月現在）

No.	国名	主な取り組み
A	日本	<ul style="list-style-type: none"> ✓ CN社会実現に向けたエネルギー輸送・供給インフラの技術課題検討（JFEエンジニアリング(株)との共同検討） ✓ 北海道・苫小牧エリアにおけるCCUS事業実現可能性検討を出光興産・北海道電力と共同実施（2023年1月～） ✓ JOGMEC「先進的CCS事業の実施に係る調査」公募にて苫小牧エリアにおけるCCS実現可能性調査を、出光興産・北海道電力と受託（2023年7月） ✓ JOGMEC「先進的CCS事業の実施に係る調査」公募にて東新潟エリアにおけるCCS実現可能性調査を、三菱ガス化学、東北電力、北越コーポレーション、野村総合研究所と受託（2023年8月） ✓ 日本ガスラインと液化CO₂内航船輸送及び港湾整備に係る共同検討の実施に合意（2023年11月） ✓ 福島県相馬地区におけるアンモニア供給拠点の構築に向けた共同検討を三菱ガス化学、IHI、三井物産、商船三井と開始（2024年1月～）
1	インドネシア	<ul style="list-style-type: none"> ✓ SKK Migasとインドネシアにおけるハブ&クラスター型CCS/CCUS実現に向けた協力を覚書を締結（2023年9月） ✓ JOGMEC・ブルタミナグループとの共同スタディ契約に基づきインドネシア・スコワティ油田におけるCO₂圧入試験開始（2023年12月～）
2	マレーシア	<ul style="list-style-type: none"> ✓ CCS共同スタディ：CO₂地中貯留の実施を視野にした適地調査や技術的な検討などをペトロナス、日揮グローバル(株)、川崎汽船(株)と共同実施（2022年1月～） ✓ 上記CCS共同スタディと連携した日本起点のCCSバリューチェーン構築共同検討実施にJFEスチールと合意（2023年6月）、同検討に中国電力と日本ガスラインが新たに参加（2024年2月）
3	アメリカ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 当社初の海外制度先進国におけるCCS事業検討案件へ参入するため米BSO社への資本参加（2023年10月）
4	カナダ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ インベスト・アルバータ社とエネルギー市場における事業創出協業に関する覚書を締結（2024年3月）

7. 統合報告書およびIR関連資料等のご案内

当社の統合報告書およびIR関連資料は、当社ウェブサイトの以下のリンクからご覧いただけます。

統合報告書

◆ 統合報告書



<https://www.japex.co.jp/ir/library/integratedreport/>

最新号（統合報告書2023、2023年9月発行）は、
以下のリンクから直接ご覧いただけます

https://www.japex.co.jp/ir/uploads/pdf/JAPEX_IR2023_j.pdf

開示資料アーカイブ

◆ 決算短信

<https://www.japex.co.jp/ir/library/result/>

◆ 決算説明資料

<https://www.japex.co.jp/ir/library/explanatory/>

◆ 有価証券報告書・四半期報告書

<https://www.japex.co.jp/ir/library/report/>

業績情報など

◆ 業績ハイライト（過去5期分） ※過去10年分CSVデータダウンロード

<https://www.japex.co.jp/ir/figure/pl/>
https://www.japex.co.jp/ir/uploads/JAPEX_10yearFinancialData_j.xlsx

◆ 株主還元（配当の推移）

<https://www.japex.co.jp/ir/stock/dividend/>

8. 用語集

■ 略語

BOE(D)	Barrels of Oil Equivalent (per Day)	石油換算バレル (日量)
CCS	Carbon dioxide Capture and Storage	二酸化炭素回収・貯留
CCUS	Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage	二酸化炭素回収・活用・貯留
CIF	Cost, Insurance and Freight	運賃、保険料込条件
CN	Carbon neutral	カーボンニュートラル
E&P	Exploration and Production	石油・天然ガスの探鉱・開発・生産
I/U	Infrastructure & Utility	インフラ・ユーティリティ
JCC	Japan Crude Cocktail	全日本平均原油輸入CIF価格
WTI	West Texas Intermediate	ウェスト・テキサス・インターミディエイト原油

■ 主要な子会社・持分法適用会社

Jガラフ	(株)ジャペックスガラフ	イラク・ガラフプロジェクト
EMPI	Energi Mega Pratama Inc.	インドネシア・カンゲアンプロジェクト
SODECO	Sakhalin Oil & Gas Development Co., Ltd.	ロシア・サハリン1プロジェクト
LBJ	Longboat JAPEX Norge AS	ノルウェー領海上鉱区
FGP	福島ガス発電 (株)	天然ガス火力発電事業

注意事項

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

Copyright: 本資料に含まれるすべての内容に関する著作権は、当社が有しています。
事前の承諾なく、これらの内容を複製もしくは転載することはお控えください。

注)

- ・本資料においては、(a) は実績数値 (actual results) を、(f) は予想数値 (forecasts) を示しています。
- ・営業利益、経常利益、持分法投資利益、親会社株主に帰属する当期純利益の「△」表記は、各利益における損失を表しています。

本資料に関するお問い合わせ、その他IRに関するご質問は、以下にお願いいたします。

石油資源開発株式会社 コーポレートコミュニケーション室 電話: 03-6268-7111

JAPEX

石油資源開発株式会社